



学会ホームページ <http://jasce.jp>

054号 (2020年1月28日)

目次

- 2020年年頭のご挨拶
- 次期大会開催地からのご挨拶
- 各種委員会
- 『協同と教育』執筆・投稿規程の変更
- 『協同と教育』特集論文募集
- 『協同と教育』への投稿募集中
- 学会ワークショップ
- 今後の予定 (判明分)
- 各地の研究会・勉強会

2020年 年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって飛躍の年になることを祈念申し上げます。

日本協同教育学会は2004年5月7日に誕生し、昨年、設立15周年を無事に迎えることができました。この15年間の歩みは、昨年9月に刊行した「日本の協同学習」(日本協同教育学会編、2019、ナカニシヤ出版)で知ることができます。と同時に、この15年の歳月を通して本学会が蓄積してきたことや、本学会が到達できた現在の姿を読み取ることができます。そこに描き出された本学会の姿を誇らしく思います。これも偏に会員の皆様一人ひとりの本学会に対する献身的な貢献の賜であると、心より感謝しています。

この学会設立15周年の節目にあた

る昨年11月、高知大学で開催された全国大会を期に新しい執行部が船出しました。本ニュースレター53号(2019年11月28日発行)の「新会長挨拶」でも触れたように、新執行部にとっては、次の15年の発展を見据えた学会の運営と基礎づくりが肝要と考えています。そのためにも、学会設立趣旨にもあるように、社会全体に協同の価値と意義を浸透させ、人間尊重社会の実現に向け、学校教育に留まることなく、地域や社会のあらゆる場面において協同を基盤とした活動を、さらに広げていきたいと思っています。本年を次の15年の発展を見据えたスタートの一年とみなし、会員の皆さんと一緒に歩み続けたいと思います。これまで同様、皆様のご協力をお願いします。

最後になりましたが、皆様一人ひとりの健康と安寧を心よりお祈り申し上げます。

2020年1月1日

日本協同教育学会会長 安永 悟

次期大会開催地からのご挨拶

会員のみなさま、新年明けましておめでとうございます。第17回大会は、令和2年10月30日(金)～11月1日(日)に比治山大学(広島県広島市)で開催いたします。

学校法人比治山学園は、令和元年に創立80周年を迎えました。本学は大学(2学部5学科)と短期大学部(3学科)で構成されています。「悠

久不滅の生命の理想に向かって精進する」という建学の精神のもと、生涯にわたって自ら学び続ける人材の育成をめざして新しい時代に即した教育を進めており、4つの核となる能力「自立」「想像」「共生」「創造」に、3つずつの学修スキルを組み合わせた「4×3の比治山力」(汎用的能力)を育成しています。実りある秋に、実り多い研究、授業実践報告など多数のご応募をお待ちしております。

第17回大会実行委員長

比治山大学 佐々木 淳

各種委員会 (○は理事)

編集委員会

- 中西 良文 [委員長] (三重大学)
- 甲原 定房 [副委員長] (山口県立大学)
- 鹿内 信善 (天使大学)
- 涌井 恵 (国立特別支援教育総合研究所)
- 杉江 修治 (中京大学名誉教授)
- 石田 裕久 (南山大学名誉教授)

研修委員会

- 須藤 文 [委員長] (久留米大学)
- 和田 珠実 [副委員長] (中部大学)
- 石山 信幸 (久留米市立南筑高等学校)
- 緒方 巧 (梅花女子大学)
- 野上 俊一 (中村学園大学)

広報委員会

- 西口 利文 [委員長] (大阪産業大学)

JASCE

- 水野 正朗〔副委員長〕(東海学園大学)
- 坂本 篤史(福島大学)
- 長濱 文与(三重大学)
- 伏野 久美子(立教大学)

企画委員会

- 高旗 浩志〔委員長〕(岡山大学)
- 関田 一彦(創価大学)

事務局

- 関田 一彦〔事務局長〕(創価大学)
- 舟生 日出男〔事務局次長〕(創価大学)
- 山崎 めぐみ(創価大学)

『協同と教育』執筆・投稿規程の変更

『協同と教育』への執筆・投稿規程について一部変更することが、1月11日に開催された理事会で承認されました。変更が行われたのは以下の3点になります。新しい執筆・投稿規程は1月28日(火)に施行されます。新たにご投稿の際にはこの規程が適用されます。重要な変更がございますので、ぜひともご確認をお願いします。(以下、文頭の番号は規程の中での項目番号を示します。また、変更箇所には下線が付してあります。)

・(2) 投稿の資格は、連名執筆者を含め、原則として本学会員に限る。ただし、編集委員会が必要と認めた場合には、この限りではない。(注:ここでの「本学会員」は、会費を完納している会員を指します。)

・(9) 投稿の際は、以下の3つのファイルをPDFファイルで作成し、送付すること。

①本文(論文タイトル、著者名、所属機関、引用文献を含むもの)

②本文(①について、著者名、所属機関を含まないもの)

③アブストラクト(和文の場合は500字程度、英文の場合は100~175語)、英文タイトル、著者の連絡先

なお、英文アブストラクトは、採択が決まった後に送付することを認める。

・(11) 本誌に掲載された論文の著作権は、日本協同教育学会に帰属する。論文の掲載が決定した際に、著作権譲渡承諾書に署名し、本会事務局に返送することで著作権の譲渡を行う。(注:著作権の譲渡をいただくことで、学会が適宜ホームページ等での公開もさせていただきます。)

なお、変更後の執筆・投稿規程の全文ならびに、新たに必要になりました著作権譲渡承諾書は学会ホームページに掲載されますのでご確認ください。

『協同と教育』特集論文募集

『協同と教育』第16号(2021年3月発行予定)において「特別支援教育と協同教育」に関する特集を予定しています。つきましては、以下の通り、会員のみならずからの執筆も募集しますので、障害のある子どもや大人を含む集団における協同学習や、ゲームや行事等の協同的な活動に関する研究(幼児から大学生、社会人まで、また社会教育や福祉・労働等の分野の研究も含む)など、関連するテーマで研究を進められている会員のみならずはふるってご応募下さい。

応募を希望する方は、下記スケジュールに沿って、必要なものをご提出ください。

なお、特集論文も査読を行いますので採択された場合は査読論文として業績になります。

・2020年4月末日 事前エントリー: タイトル・著者名・キーワード(3~5つ)・アブストラクト(300字程度)の提出。

・2020年8月20日 原稿締め切り: 原稿形式は『協同と教育』執筆・投稿規程における「研究論文」「実践研究論文」の形式に従う。

・2020年9月~10月 審査結果返送: この時点で「採択」もしくは「修正採択」の結果が出たものを特集号に掲載する。

・2020年12月中旬 適宜修正した上で最終原稿提出。

『協同と教育』への投稿募集中

上記の特集論文以外にも、『協同と教育』への投稿を随時受け付けています。通常論文の投稿に締め切りはありません。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月を要します。

編集委員会では学会機関誌『協同と教育』第16号(2021年3月発行予定)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

学会ワークショップ 今後の予定(判明分)

<ベアシック>

2020年3月14日(土)~3月15日(日)

【主催】

会場: 東海学園大学名古屋キャンパス4号館3階430講義室(名古屋市)
講師: 水野正朗

JASCE

2020年3月21日(土)～3月22日(日)

【主催】

会場：創価大学（八王子市）

講師：大場浩正

2020年3月28日(土)～29日(日)

【主催】

会場：学校法人湘央学園浦添看護学校（沖縄県浦添市）

講師：安永悟・須藤文

<アドバンス>

2020年3月21日(土)～3月22日(日)

【主催】

会場：創価大学（八王子市）

講師：伏野久美子



教育委員会3人)が集う会となりました。皆さんそれぞれの学びと、道内外の仲間（東京からの参加者もおられました!）との交流を通して得た熱を持ち帰られたことでしょう。（事務局：大和田秀一）

連絡先：大和田秀一（酪農学園大学 owada@rakuno.ac.jp 011-388-4777）

各地の研究会・勉強会

（北海道地域）

北海道アクティブ・ラーニング（協同と創造の授業づくり）研究会

◇2018年夏以来の研修会が、1月11日（土）に北海道医療大学札幌サテライトキャンパス（札幌市中央区）で行われました。今回はJASCE会員で認定トレーナーでもある松浦賢一氏と石垣則昭氏（本会会長）のお二人が講師を務めて下さいました。午前中は松浦氏が協同と競争の違い、協同学習の基本的な技法についてワークを交えながら解説し、午後はそれを授業実践に活かす工夫について石垣氏のファシリテートのもと話し合われました。

多様な学校種の教員と教育関係者（小学校9人、中学校10人、高校10人、養護学校1人、大学2人、

（名古屋・東海地域）

Learning Design Community（静岡県）

◇2019年12月23日（月）、「これからの教員に求められる資質・能力をどの様に高めるか?」というテーマで聖心女子大学2号館2階学習支援センターにて第20回目の研修会を開催しました。午前中に静岡県立浜松北高校教村勝久先生と浜松南高校村松卓先生、午後は静岡県立御殿場高校美那川雄一先生、東京都立晴海総合高校小出和代先生、産業能率大学皆川雅樹先生の事例発表、聖心女子大学益川弘如教授によるワークショップが行われました。本年もよろしくお願いたします。

連絡先：鈴木映司（静岡県立韮山高等学校教諭 suzukifamilyeiji@yahoo.co.jp）

（大阪地域）

協同学習を用いた看護教育研究会

◇皆様、明けましておめでとうございます。本研究会は6回/年のリズムで開催を重ね、昨年の11月から6年目に入りました。話題提供者と参加者が共に刺激し合い励まし合って、協同学習を用いた授業のブラッシュアップを図ってきました。

今年も皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。

1月24日開催の研究会には25名(新たな参加2名)をお迎えして開催しました。話題提供は梅花女子大学看護保健学部看護学科基礎看護学分野の重年清香先生で、テーマは、「検査時の援助技術の理解を深める授業をめざして」でした。検査は健康診断をはじめ疾病の診断・治療などで実施され種類と数が膨大です。看護師は検査を受ける方の不安や苦痛に寄り添うとともに安全で確実な検査ができるための援助技術が求められます。学生が何をどのように深く学び、何ができるようになればよいか、検査時の看護援助の重要事項が理解できるための授業の構造化は大変興味深いものです。研究会では、重年先生の協同学習を用いた授業実践を拝聴し活発な意見交換がなされました。事前学習と授業をどう効果的につなぐか、看護師の援助の在り方について思考でき相互に学び合うためのアイデアが多く提案され、授業の構造化に理解を深め合うことができました。

3月はWS(ベーシック・アドバンス)に積極的に参加してブラッシュアップを図りましょう。

JASCE



◇今後の開催予定

場所：グランフロント大阪 北館2階
ナレッジキャピタルThe Labアクティブ
スタジオ

時間：19:00～21:00、日程：2020
年3月13日

連絡先：緒方巧（梅花女子大学
看護保健学部看護学科 基礎看護
学 t-ogata@baika.ac.jp）

（岡山・中国方面）

協同学習研究会（岡山）

◇次回の開催予定

今年度の最後の第4回協同学習研究会を2月29日（土）に開催します。今回は日本協同教育学会・元会長の関田一彦先生（創価大学）に、協同学習の技法に関するワークショップとご講話をお願いしました。本会は、これまで「協同学習の理念の実現を目指す授業者の実践に学ぶ」ことを中心に実施してきました。裏返せば、協同学習を単なるグループ学習と狭く捉え安易な「ノウハウ」をなぞるだけの研究会になることを避けてきました。その一方で、深いレベルで理論に裏付けられ、かつ一定の成果を上げている実践技法を学ぶ機会を提供することも、本会の重要な使命と考えています。大切なことは、授業者一人一人が協同学習の理念の実現を目指

し、自らに必要な実践技法を生み出すことにあります。その手がかりを得て頂きたいという趣旨で今年度最後の会を企画しました。

期日：2020年2月29日（土）14時00分～17時30分。講師：関田一彦先生（創価大学）。演題：「たかが技法、されど技法-協同学習の技法を学ぶ・ケーガンストラクチャーを中心に」。会場：岡山大学教師教育開発センター東山ランチ（附属学校園のある東山地区です）（http://www.okayama-u.ac.jp/user/cted/access_higashiyama.html）。

参加申込やお問い合わせは、下記連絡先にメールでお願いします。

◇次年度の開催予定

以後の予定は次の通りです。いずれも土曜日の14時～17時30分です。併せて発表者も募集しています。

2020年7月18日（土）、8月29日（土）、12月5日（土）、2月27日（土）

連絡先：高旗浩志（岡山大学教師教育開発センター takahata@okayama-u.ac.jp）

（福岡・九州方面）

授業づくり研究会・協同教育フェスタ

◇2019年12月7日（土）、第49回研究会を開催しました。登壇者は吉山尚裕先生（大分県立芸術文化短期大学）。演題は「組織とチームの協同のために-PM式組織開発の考え方-」でした。参加者は45名でした。

次の第50回研究会は2月29日（土）13:00～17:00に開催します。会場は久留米大学御井キャンパス 御井学生会館3階ミーティング＝ルーム3です。



登壇者は、水野正朗先生（東海学園大学）。演題は「高等学校国語科において求められる資質・能力を育むための授業づくり」です。その他の内容として2点を予定しています。1点目は、いつものように導入を兼ねた協同学習の基礎基本の確認です。2点目は、「協調の技能」についてのディスカッションです。共に学び合うためには、仲間と協力し合うための技能を身につけることが重要です。日頃の実践をふり返りながら、協調の技能の必要性や効果について語り合いたいと思います。

◇今後の開催予定

2020年2月29日（土）は決定です。その他、5月16日（土）、10月10日（土）、12月12日（土）に研究会を開催予定です。

なお、毎年7月末に開催している「協同教育フェスタ」、今年も7月25日（土）に開催予定です。会場は授業づくり研究会と同じです。

◇参加申込方法

授業づくり研究会・協同教育フェスタ両方とも、参加希望者は協同教育研究所「結風」のHP（<http://yuikaji.me/wiki.cgi>）から申し込んでください。

連絡先：安永悟（久留米大学 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp）